≪浄化槽設置工事経過写真≫

## （１）着工前（浄化槽設備士監督）　令和　月　日

浄化槽の設置予定地を背景に、実地を監督する浄化槽設備士が標識板を掲げ、正面を向いて写っていること。

## （２）堀削状況

底面からの深さを示すスケールが写っていること。

## （３）基礎砕石（厚み確認）

基礎砕石を行ったことが分かり、底部土面からの高さを示すスケールが写っていること。

## （４）ベースコンクリート（厚み確認）

ベースコンクリートを打ったことが分かり、基礎からの高さを示すスケールが写っていること。

≪浄化槽設置工事経過写真≫

## （５）浄化槽搬入（機種・人槽確認）

標識板を用いて浄化槽の機種・人槽が分かるよう表示されていること。

## （６）浄化槽据付け（水平確認）

本体が水平に据付けられていることを確認するための水準器が写っていること。※水準器がない場合は『７．埋め戻し前水張り（水平確認)』の工程で確認すること。

## （７）埋め戻し前水張り（水平確認）

水張り用のホースが写っていること。また、水平確認のための水準器もしくは浄化槽設備士による水準目安線確認の様子が写っていること。

## （８）水締め／埋め戻し

水締めを行っていることが分かるよう、ホース及び埋め戻し用の土砂が写っていること。

## （９）つき固め／埋め戻し完了

つき固めの器具（つき棒やランマー等）が写っており、埋め戻しが完了したことが分かること。

## （１０）スラブ配筋

配鉄筋の様子が分かるようにすること。

## （１１）スラブ打設完了

スラブ打設が完了し、浄化槽の設置が完了したことが分かること。

## （１２）かさ上げ（300mm 以下）

かさ上げの有無に関わらず、バルブ上端からマンホール蓋までの距離を示すスケールが写っていること。